

今まで注射でのみ行われていた減感作療法に、薬剤を口の中から摂取するという方法が加わりました。これを「舌下療法」と呼びます。

スギ花粉の治療薬を「シダトレン」といいます。この「シダトレン」はブタクサ、ヒノキなど秋に飛んでいるものやダニやハウスダストには一切効きません。ただ、ヒノキはスギと同じ分類に入るので、ヒノキに関してはある程度期待はできます。

注意点から申し上げますと、まず薬剤は**要冷蔵**です。旅行等の際にも保冷バッグに入れて持ち運び、滞在先では出来る限り冷蔵庫での保管をお願いします。

また治療を開始する時期ですが、スギ花粉が飛んでいる**2月～4月の開始はできません**。一方、すでに治療を開始されている方はこの時期も継続して服用してください。

なお処方箋は初回が2週間分までとなります。それ以降は4週間分の処方箋が可能です。

実際の使い方ですが、薬剤は右記の3種類に分かれています。期間ごとに青いボトル→白いボトル→白い個包装の薬剤とだんだん濃度が濃くなる順番で使っていきます。

中にはうっかり服用するのを忘れてしまう日もあると思います。その場合は、例えば4日目を忘れたら、5日目に4日目の量をお使いください。要するにこの順で全部使いきって頂ければ良いのです。治療の目安はだいたい2年程度です。

長期間休薬（1ヶ月以上）をしてしまうと最初からやり直しになりますのでご注意ください。



服用方法は、舌の下に薬剤を入れ2分間保持してから飲み込んでください。2分間保持するのは口腔粘膜から吸収させるためです。ということは、この段階で口の中が赤くなったり、腫れたりすることがあります。また飲み込んだ後、5分間はうがいや飲食は出来ません。



大きく口を開け、**舌の下に**一度にその日の服用量をプッシュします。

※シダトレンは添加物として濃グリセリンを使用しているため、患者さんによっては服用時にピリピリ感を感じることがあります。



舌の下に薬液を入れたまま**2分間保持**した後にのみこんでください。



その後**5分間は、うがいや飲食をしない**でください。

費用は他のアレルギーの薬と同じくらいの価格です。1日100円程度です。治療中に花粉症の症状が出て他の薬を飲むことや、治療中の妊娠も問題ありません。

最後に、この治療はアレルギーをお持ちの方の中にアレルギーを入れるわけですから、メーカーはショック症状が起きることを一番心配しています。そのため初回は院内で服用の上、服用後20分間は院内にいて頂いております。さらにショック等で倒れてしまった時にどこの誰かがわかるように記入いただくカードを一緒にお渡ししています。

以上が減感作の舌下免疫療法についての説明です。
お読みいただいて、ご理解の上治療を希望されますか？

新しく「舌下療法」に「ダニ」アレルギーが加わりました。

まず最初に、これはあくまでダニアレルギーによる鼻炎の治療です。ハウスダストの場合は、大半はダニの死骸や糞と言われているので効果は期待はできません。

薬は鳥居薬品の「ミティキュア」、シオノギ製薬の「アシテア」の2種類があります。

治療を開始する時期は特に選びません。スギ花粉の舌下療法をされている方でも併用は可能です。

なお、処方量は2週間分までとなります。

実際の使い方ですが、「ミティキュア」について説明します。スギに対する舌下療法「シダトレン」とほぼ同じです。シダトレンの説明も必ずお読みください。

※「アシテア」の用意もありますので、ご相談ください。

期間ごとに黄色の包装→ピンクの包装の薬剤の順番で使っていきます。



シダトレンと異なる点は錠剤のため、常温での保存となります

服用方法は、1日1回、薬剤を舌の下に入れ、1分間保持してから飲み込んでください（シダトレンは2分間）。服用後に口の中が赤くなったり、腫れたりすることがあります。

服用の際の費用は3割負担の方では自己負担額が1日約130円程度です（シダトレンは約100円）

ミティキュアの服用手順

服用する直前にシートをはがし、乾いた指で爪を立てずにお薬を取り出してください。舌の下にお薬を置き、1分間保持した後、飲み込みます。

<p>1</p> <p>ミシン目にそって、しっかりと折り曲げ、切り離してください。</p>	<p>4</p> <p>舌の下にお薬を置き、1分間保持した後、飲み込んでください。舌の下に置くとき唾液で溶けてなくなりますが、唾液はすぐに飲み込まず、1分間舌の下に保持してください。</p>
<p>2</p> <p>うら面の「はがす」部分からはがしてください。お薬がやわらかく、割れることがあるため、シートをはがさずに押し出さないでください。</p>	<p>5</p> <p>その後5分間は、うがいや飲食をしないでください。</p>
<p>3</p> <p>爪を立てずに指の腹で下から押して、お薬を取り出してください。欠けたり割れたりした場合、それらも一緒に服用してください。</p>	

以上が減感作の舌下免疫療法についての説明です。お読みいただいて、ご理解の上治療を希望されますか？